

## 協会に事務局を置く団体

### 神奈川県消化器がん検診機関 一次検診連絡協議会

本協議会は老人保健法施行に伴い昭和57年2月、日本胃集団検診学会（現：日本消化器がん検診学会）関東甲信越地方会実施機関部会において各県単位に「協議の場」を設置する申し合せにより発足し、30年が経過した。

発足以来、県内における老人保健法に基づく胃がんの住民検診を行う一次検診実施機関の精度管理の向上、行政、医師会をはじめとする関係機関との連携協調を図り、共通の諸問題の研究、技術の向上を目指して討議を行い、胃がん検診の充実、発展を図ってきた。当協会は発足当初より事務局を引き受けている。

#### 1. 協議会の開催

- (1) 第74回協議会 平成24年7月3日（火）  
(2) 第75回協議会 平成25年1月18日（金）

#### 2. 幹事会の開催

- (1) 第93回幹事会 平成24年6月19日（火）  
(2) 第94回幹事会 平成24年12月21日（金）

#### 3. 研修会

日 時：平成25年3月1日（金）～3月2日（土）

「日本消化器がん検診学会 関東甲信越地方会 第45回放射線部会学術集会」のプログラムを研修会と兼ねて実施

#### 4. 技術部会

- (1) 第1回 平成24年5月16日（水）  
(2) 第2回 平成24年8月22日（水）  
(3) 第3回 平成24年11月14日（水）  
(4) 第4回 平成25年2月13日（水）

#### 5. 講習会（がん検診X線撮影従事者講習）

日 時：平成25年1月25日（金）

主 催：神奈川県 ＊共催機関として協力

#### 神奈川県消化器がん検診機関一次検診連絡協議会名簿

|                          |        |             |
|--------------------------|--------|-------------|
|                          | 会 長    | 今村 清子       |
|                          | 副 会 長  | 小林 理        |
| 横浜市民病院がん検診センター           | 検診担当部長 | 石山 暁        |
| 川崎市立井田病院がんセンター           |        | 佐藤 康明       |
| (公財)逗葉地域医療センター           | 施 設 長  | 河村 攻        |
| (医)松英会                   | 理 事 長  | 寺門 節雄       |
| (財)京浜保健衛生協会              | 理 事 長  | 矢作 淳        |
| (医)倉田会 メディカルサポートクリニック    | 院 長    | 宗像 覚        |
| 神奈川県厚生農業協同組合連合会 保健福祉センター | センター長  | 中安 邦夫       |
| (財)神奈川県労働衛生福祉協会          | 会 長    | 西平 浩一       |
| (公財)神奈川県結核予防会            | 専務理事   | 小宮 久雄       |
| (公財)神奈川県予防医学協会           | 理 事 長  | 土屋 尚        |
| 厚木市立病院                   | 病 院 長  | 山本 裕康       |
| (医)社団相和会産業健診事業部          | 理 事 長  | 土屋 敦        |
| (医)藤順会藤沢総合健診センター         | 理 事 長  | 石井 敏和       |
| 相談機関                     |        |             |
| 日本消化器がん検診学会              |        | 今村 清子       |
| 神奈川県保健福祉局保健医療部がん対策課      | 課 長    | 中澤よう子       |
| 神奈川県医師会                  | 理 事    | 石井 出        |
| 神奈川県医師会                  | 理 事    | 羽鳥 裕        |
|                          |        | 平成25年8月1日現在 |
|                          |        | (事務局 新保 文樹) |

### 神奈川県消化器内視鏡技師研究会

本研究会は、消化器内視鏡技師、その仕事に携わる人々を対象に、お互いの知識・技術の向上をめざし日常業務の質の向上を図る目的で設立され活動を行っている。

今年度は、東名厚木病院 光学診療部長 中野敦史先生に世話をお願いし、下記の通り行われた。

#### 第32回神奈川県消化器内視鏡技師研究会

日 時 平成24年4月15日（日）  
会 場 (財)横浜市教育会館  
世 話 人 東名厚木病院  
光学診療部 中野 敦史先生  
技師世話人 平井 弘子  
内 容

消化器内視鏡機器取り扱い講習会

一般演題 4題

特別講演 内視鏡洗浄消毒履歴管理システムについて  
パネルディスカッション

洗浄消毒ガイドラインを遵守する為の取り組み

入 場 者 523名

今回「特別講演」では、洗浄機メーカー3社から各社のシステムとその活用方法について発表・説明を依頼した。

パネルディスカッションでは、特別講演と関連して各施設での洗浄の実際・教育・履歴管理の方法について各施設より発表があり、各施設の業務に参考になる発表がなされていた。

#### 顧 問（五十音順）

青木 誠孝 青木医院  
比企 能樹 北里大学病院名誉教授  
西元時克禮 北里大学病院名誉教授  
勝又 伴栄 北里大学病院  
藤田 力也 昭和大学藤が丘病院名誉教授  
高橋 寛 昭和大学藤が丘病院  
遠藤 豊 昭和大学藤が丘病院  
峯 徹哉 東海大学病院  
山川 達郎 帝京大学溝口病院  
伊東 文生 聖マリアンナ医科大学病院  
安田 宏 聖マリアンナ医科大学病院  
生沢 啓芳 あいクリニック  
南 康平 丹羽病院

#### 役 員

青地 広美 横浜市立大学医学部付属市民総合医療センター  
片野早江子 聖マリアンナ医科大学病院  
佐藤 和夫 神奈川県労働福祉協会  
佐伯 美奈 聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院  
鈴木 瑞穂 松島クリニック  
瀬戸 道雄 青木医院  
谷合 幸乃 横浜市こども青年局  
高木ちなつ 藤沢湘南台病院  
矢崎るり子 横浜市民病院  
納所けい子 神奈川県予防医学協会  
花木由香里 村松内科胃腸科クリニック  
平井 弘子 東名厚木病院  
藤田 賢一 帝京大学溝口病院  
藤森 弘樹 昭和大学藤が丘病院  
石渡 美和 横須賀共済病院  
松橋 妙子 はっとりファミリークリニック  
三浦 美保 北里大学東病院  
武藤美枝子 東海大学病院  
山本 松男 南大和病院

(事務局 納所 けい子)

## 子宮がん車検診実施検討会

子宮がん車検診検討会（以降：検討会）は、精度管理向上を目的とし昭和46年度に開会した。

検診車による子宮がん検診は、昭和43年度から開始され、県下市町村からの委託事業として当協会が配車し、細胞診断と結果報告を担当している。

検討会は、検診に協力していただいている県内の北里大学・東海大学・横浜市立大学・聖マリアンナ医科大学・日本医科大学武蔵小杉病院・相模野病院の産婦人科の医師及び県立がんセンター婦人科腫瘍専門医師のグループで車検診のデータの検証と、発見症例の再検鏡や再検証・検討を実施し、精度管理の維持向上に役立てると共に、検診の実務上必要な情報交換を行っている。

平成24年度の検討会では、定例の車検診のデータの検証・検討に加え、女性特有の病気に関する正しい情報の普及のための啓発活動やがん検診の受診率向上のための活動などを行っている「女子大生リボンムーブメント」のメンバーを招き、子宮頸がん検診の啓発活動について報告していただいた。なお、検討会で報告・検討された内容については、神奈川県産科婦人科医会の代表医師に対しても報告している。

（事務局：稲葉 稔明）

## 神奈川県乳がん集団検診協力医療機関連絡会

県域の乳がん集団検診は昭和52年度から開始され、昭和53年度以降は県が実施主体となり、「神奈川県乳がん集団検診協議会」の技術指導のもとに当協会が委託を受け実施してきた。

その後、昭和60年度に乳がん検診が老人保健法に加わり、実施主体が市町村に変わったのを契機に、当協会を事務局として「神奈川県乳がん集団検診協力医療機関連絡会（現会長 福田護（聖マリアンナ医科大学附属研究所プレスト&イメージング先端医療センター附属クリニック院長）が発足し、上記協議会を引き継ぎ、検診の実務が遂行されている。

同連絡会は「神奈川県生活習慣病検診管理指導協議会乳がん分科会（会長 福田護（同上）、事務局：神奈川県保健福祉局）」の指導のもと検診精度管理面の検討と、検診の円滑かつ効果的な運営を図るため設置運営されている。

また、同連絡会は年に1回全体の協議会を開催し、集団検診ならびに追跡調査の状況を報告し精度管理のチェックをすると共に、検診の実務上必要な情報交換を実施し、また厚生労働省の視触診の指針に基づく技術協力を各医療機関に要請している。

追跡調査の結果は毎年連絡会の医療機関の代表が「日本乳癌検診学会」に報告し、全国における神奈川県乳がんの検診実態把握と精度向上に努めている。

会 員（敬称略：順不同・平成25年8月1日現在）

会長 聖マリアンナ医科大学附属研究所プレスト&イメージング先端医療センター附属クリニック  
院 長 福田 護

### 〈医療機関名〉

|                 |       |
|-----------------|-------|
| 横浜市立大学医学部一般外科   | 利野 靖  |
| 横浜市立民総合医療センター外科 | 石川 孝  |
| 昭和大学藤が丘病院       | 松宮 彰彦 |
| 横浜南共済病院         | 松川 博史 |
| 日本医科大学付属第二病院    | 天神 敏博 |
| 聖マリアンナ医科大学病院    | 津川浩一郎 |
| 藤沢市民病院          | 仲野 明  |
| 藤沢湘南台病院         | 田村 功  |
| 茅ヶ崎市立病院         | 小林 一博 |
| 平塚共済病院          | 谷 和行  |
| 小田原市立病院         | 小山 隆史 |
| 山近記念総合病院        | 久保田光博 |
| 秦野赤十字病院         | 蓮尾 公篤 |
| 東海大学病院          | 徳田 裕  |
| 大和市立病院          | 鈴木 博  |
| 東海大学大磯病院        | 島田 英雄 |
| 伊勢原協同病院         | 飯尾 宏  |
| 平塚市民病院          | 金井 歳男 |
| 海老名総合病院         | 内山喜一郎 |
| 東芝林間病院          | 竹中 晴幸 |
| 相模台病院           | 坂本いづみ |
| 湘南記念病院          | 土井 卓子 |
| 東名厚木病院          | 日野 浩司 |

（事務局：稲葉 稔明）

## 神奈川乳房画像研究会 神奈川乳房超音波画像研究会

本研究会は平成10年12月に発足し、マンモグラフィ・乳房超音波・乳房画像診断・病理診断に携る県下の診療放射線技師・臨床検査技師・医師とその検査を受ける立場である一般の方に至るまでを対象とし、早期に乳がんを発見するために画像診断力や精度管理の知識向上に役立つ情報の伝達や医療現場の情報など普及活動を行なっている。平成18年3月に発足した神奈川乳房超音波画像研究会も同様に広い範囲で活動を推進している。

代表世話人 加藤善廣  
(川崎市立多摩病院)

### 平成24年度の活動状況

#### 《第45回研究会・第22回超音波研究会》

開催日時：平成24年7月7日（土） 14：00～18：00  
会場：川崎市立川崎病院 7Fホール

1. 「ソフトコピー診断の施設画像評価の概要」  
NPO法人マンモグラフィ精度管理中央委員会 堀田勝平先生
2. 「乳房超音波検査のコツとリンパ節の見方」  
東京医科大学病院 画像診断部 河本敦夫先生
3. 「マンモグラフィの基礎★カテゴリー分類」  
医療法人 湘和会 湘南記念病院 土井卓子先生  
参加者：165名

#### 《第46回研究会・第23回超音波研究会》

開催日時：平成24年11月17日（土） 14：00～18：00  
会場：川崎市立川崎病院 7Fホール

1. 「Elastographyの臨床応用」  
聖マリアンナ医科大学病院 臨床検査部 岡本隆徳先生
2. 「病理の基礎の基礎」  
日本医科大学武蔵小杉病院 病理部 永井祥子先生
3. 「マンモグラフィのポジショニングの基礎」  
神奈川乳房画像研究会 小林水紀先生
4. 「臨床画像評価」  
神奈川乳房画像研究会世話人 参加者：101名

#### 《第47回研究会・第24回超音波研究会》

開催日時：平成25年2月23日（土） 14：00～18：00  
会場：川崎市立川崎病院 7Fホール

1. 「iPadによるマンモグラフィ読影研修用ファイルの作成」  
国家公務員共済組合連合会 立川病院 外科 服部裕昭先生
2. 「乳房造影超音波検査について」  
聖マリアンナ医科大学病院 超音波センター 桜井正児先生
3. 「症例検討……基礎編」  
埼玉県立がんセンター 病理診断科 黒住昌史先生
4. 「臨床画像評価」  
神奈川乳房画像研究会世話人 参加者：53名

### 世話人会開催

平成24年6月8日 19：00～21：00  
平成24年6月19日 19：00～21：00  
平成24年10月3日 19：00～21：00  
平成24年12月3日 19：00～20：00  
平成25年1月28日 19：00～21：00  
平成25年3月11日 19：00～20：30  
於：神奈川県予防医学協会  
(事務局 見本喜久子 道崎秋恵)

## ピンクリボンかながわ

「ピンクリボンかながわ」は、乳がんの早期発見・早期治療をめざして、NPO法人乳房健康研究会と共に、乳がん検診の受診率向上と乳がんについての知識の普及・啓発を目的として、平成18年度から取り組み7年目となる。

神奈川県から貸与されたマンモグラフィ検診車の活用を図り、行政・企業との連携が拡大し活発な活動を展開してきた。

各団体との連携による主な活動としては、マンモグラフィ検診車の展示や、ピンクリボンブースで乳房模型を使い、しこりの触診体験や自己触診方法を説明している。

また、小規模の催しには、乳房模型の貸出しや自己触診方法が載ったリーフレットの提供による活動支援も行っている。

更に、2年前より当会の機関紙「健康かながわ」に「ピンクリボンかながわより感謝を込めて」のコーナーを設け、ご協力いただいている自治体・企業・団体の皆様からの応援メッセージを掲載している。メッセージを寄稿する皆様の、ピンクリボン活動への取り組みや思いが伝わるコーナーとなっている。

また、キリンビバレッジ(株)協力のもと「ピンクリボン自動販売機」を作製した。

自販機は、ピンク色で啓発メッセージが入り、誰もが簡単にできる社会貢献といえる。1本購入ごとに、ピンクリボン啓発活動に参加でき、自販機を通じた社会貢献として設置にご協力いただける団体が神奈川県内で年々増加している。

平成24年度は、県内市町村や企業等のイベントや講習会、研修会に、延べ42団体64日間、協力参加した。

本会としての主活動は、9月22日に、神奈川県、横浜市をはじめ関係団体と連携したイベントを横浜公園、日本大通を中心にを行い、更に、横浜三塔（神奈川県庁・開港記念会館・横浜税関）横浜マリンタワー、象の鼻パークのスクリーンパネル等7ヶ所でピンク色のライトアップを行った。

### 役員

1. 代表 野末 悦子  
(乳房健康研究会・コスモス女性クリニック)
2. アドバイザー2名 青野 智子  
為行 勲 (㈱ジェー・ピー・サービス)
3. 監事2名 吉泉 英紀 (横浜市水道局)  
高木富美子 (乳房健康研究会)
4. 事務局長 栗原 博 (神奈川県予防医学協会)  
事務局員 7名

ボランティア登録90名

(協会職員・協会OB・外部応援者等)  
(事務局 野口 正枝)

## 神奈川県健康管理機関協議会

本協議会は、県内において企業等の健康管理支援業務を行う企業外健康管理機関が、より質の高いサービスを提供するため、健康管理全般に関する支援として、精度の向上、適正な事業の運営等、共通の諸問題を協議検討すると共に労働衛生行政へも積極的に協力していくことを目的として活動している。平成24年度の会員機関は15機関で年2回運営面の適正化と質的向上に関する事項の協議の場として、継続的に協議会を開催している。

### 平成24年度活動状況

#### 第1回協議会（平成24年8月27日）

1. 神奈川労働局からの連絡事項
  - ・神奈川県下における労働衛生の現状
  - ・平成24年度労働衛生行政の重点
  - ・労働衛生関係法令の改正等について
  - ・東日本大震災に関連する安全衛生対策
2. 講演  
 テーマ：「労働安全衛生法にもとづくメンタルヘルスチェック」に労働衛生サービス機関はどう取り組むか  
 講師：河野慶三産業医事務所  
 人間総合科学大学大学院・教授 河野 慶三先生
- (1)メンタルヘルスの現状
- (2)メンタルヘルスチェックの概要
- (3)メンタルヘルスチェックの問題点
- (4)労働衛生サービス機関としての望まれる対応
3. 情報交換
  - ・移動診療所の現状と対応
  - ・採血時のトラブル対応
  - ・「あらたな枠組みのメンタルヘルス対策」への取組（検討）

#### 第2回協議会（平成25年3月14日）

1. 神奈川労働局からの連絡事項
  - ・第12次労働災害防止計画について重点対策ごとに数値目標を設定
  - ・第三次産業を最重点業種に位置づけ
  - ・死亡災害に対し重点を絞った取組みを実施
2. 講演  
 テーマ：「健康保険組合の現状と今後」  
 講師：健康保険組合連合会神奈川連合会  
 会長 岡本 光正様
- (1)健康保険組合の現勢、各構成員数、医療費の動向（概算医療費）
- (2)健康保険組合の医療費抑制活動
- (3)特定健康診査・特定保健指導実施状況
- (4)特定健康診査・特定保健指導受診率の向上施策
- (5)健診データとレセプトを活用した健康指導の検討状況
3. 情報交換
  - ・特殊健康診断法改正
  - ・乳がん検診の実施方法
  - ・「あらたな枠組みのメンタルヘルス対策」への取組（検討）状況

#### 機関名 ▲代表幹事 ●幹事

- ▲(公財)神奈川県予防医学協会
- (財)神奈川県労働衛生福祉協会
  - (一財)京浜保健衛生協会
- (公財)結核予防会 神奈川県支部
  - (財)全日本労働福祉協会
  - (財)日本予防医学協会 東日本統括センター
  - (財)労働衛生協会
    - 独立行政法人 労働者健康福祉機構 関東労災病院 健康管理センター
  - (公財)労働科学研究所
  - (医)社団 日健会 日健クリニック
  - (医)社団 相和会 産業健診センター
  - (社)衛生文化協会 城西病院
  - (財)逗葉地域医療センター
    - 神奈川県厚生農業協同組合連合会
  - (医)社団 同友会

※平成25年3月31日現在

(事務局 雨宮 徹)

## 神奈川健康保持増進サービス機関等連絡会

神奈川健康保持増進サービス機関等連絡会は、神奈川県下で活動している中央労働災害防止協会認定（名簿登載機関）の健康保持増進サービス機関で組織され、神奈川労働局の指導の下に発足し自主的に運営されている。その目的としては、事業主の責務である労働者への健康づくり活動をより質の高いものにすべく、技術の向上、運営の適正化またサービスを提供することである。

THPは、働く人の健康の保持増進（心とからだの健康づくり）に資するため、昭和63年の労働安全衛生法の改正に伴い導入され、今年で25周年を迎える。

THPでは、個人の生活習慣を見直し、若い頃から継続的で計画的な健康づくりをすすめることで、働く人がより健康になることを目標にしている。

THPをすすめる場合、研修を修了した産業医が健康測定をおこない、その結果にもとづき、運動指導、保健指導、メンタルヘルスケア、栄養指導等をTHPスタッフの指導のもとにすすめていくが、このTHPスタッフがいらない場合には、労働者健康保持増進サービス機関・指導機関に委託して実施することができる。

労働者健康保持増進サービス機関・指導機関は、これら事業者が取組むべき健康増進活動の計画立案・実践を企業外から支援する機関であり、積極的に活用をしていただきたい。

### 〈加入機関〉

(財)神奈川県労働衛生福祉協会

(医社)こうかん会

(公財)神奈川県予防医学協会

平成25年4月1日現在

(事務局 北見 護)

## 肺疾患検討会

この定例会を始める冒頭に、世話人である筆者は毎会同じ文句で口を切る。「この会の第一回目は昭和56年9月で、本日で第〇〇〇回目を迎えます」というのは今から30年余の前から同じ形式で続いているということを云いたいのと、若い参加者にはまだ生まれる前から続いている会です、と知ってもらいたいのです。30年も変わっていないのか…と思われるでしょうが変わっています。まさに第一世代から第二世代と来て第三世代にまで引き継がれているのです。病気そのものは変わっていませんが、診断方法や治療方法など、変わっていない司会の筆者も勉強しないといけないようになっていきます。一番勉強しているかも……。

## 第140回 平成24年5月15日

横浜労災病院 呼吸器外科 前原孝光先生 他

- ①先天性気管支閉鎖症 ②肉芽腫性肺炎の2例  
③結節性アミロイドーシス ④リウマチ合併呼吸器病変

## 第144回 平成24年10月3日

神奈川県立循環器呼吸器病センター 呼吸器内科  
小倉正志先生 他

- ①部分肺静脈還流異常に伴う結核病巣 ②NTM症例と結節形成について ③空洞化を伴う多形癌例 ④骨形成を伴う中分化腺癌

## 第145回 平成24年12月11日

国立横浜医療センター 呼吸器外科・呼吸器内科  
坂本和裕先生 他

- ①肺、気管支に多発病変を認めたMALTリンパ腫の1例

註) 他の4例の病例については事務局の不備により記録不掲載となることを御詫びいたします(井出)。

## 第146回 平成25年2月19日

神奈川県立がんセンター 呼吸器外科 中山治彦先生、伊藤宏之先生

- ①72歳 CT検診にて発見した5mmのInvasive adenocarcinoma TypeC。②50歳 検診X-Pにて結節影で10×9mmの結節切除。肺動脈瘤。③CTにてフォローするも増大するため左上葉切除。ついで右肺炎プラ壁発生肺癌。④左上葉の7cm系の球形肺癌。化学療法後手術。リンパ節はほぼ全く消滅した。⑤66歳 CTにて肺癌疑い。放射線治療+化学療法。肺癌切除+椎体合併切除。⑥85歳男性。CTにて3回フォロー、右肺癌疑い手術。左にもGGOあり。胸腺癌断端再発切除(異時多発との区別)。⑦58歳男性。X-Pにて異常陰影。左上葉切除+リンパ節郭清。Large cell neuroendocrine carcinoma, NOMO

(事務局 井出 研)

## 日本作業環境測定協会神奈川支部

日本作業環境測定協会神奈川支部は、昭和56年7月、神奈川並びに山梨の両県に所在する(社)日本作業環境測定協会会員により設立。

現在、支部の会員は、自社1、機関26、指定1、測定士41、その他13の計82会員である。

神奈川支部は設立以来、作業環境測定士の資質向上と測定技術の精度向上、測定機関の業務改善並びに会員相互の連携強化を目的として、種々の事業を展開してきた。

平成24年度は、作業環境測定推進大会を始めとして、各種の事業を行った。その主な内容は次の通りである。

## 会 議

## (1) 支部会議

- ①総会1回 ②理事会3回  
③技術専門委員会7回 ④機関全体集会1回

## (2) 本部会議

- ①支部長会議(24.7.25)

## 事 業

## I. 作業環境測定推進大会(24.9.13)

- ①最近の労働衛生行政の動向  
神奈川労働局労働衛生課長 中村 宏彰氏  
②原発事故による放射性物質の汚染と作業者の被ばく管理  
中災防検査センター 山田 憲一氏  
③実験室における粉じんの作り方  
日測協精度管理センター 芹田富美雄氏

## II. 技術研修会

## (1) 第1回技術研修会(23.5.11)

～東日本大震災を含む石綿計測について～

日本作業環境測定協会 神山 宣彦氏

## (2) 第2回技術研修会(24.11.22)

工場見学会:(独)海洋研究開発機構

## (3) 第3回技術研修会(25.2.22)

- ①最近の法令改正(衛生関係)について  
神奈川労働局労働衛生専門官 金子 正雄氏  
②デザインの実務について  
・粉じんについて

山梨厚生会 望月 速人氏

・有機溶剤について

JFEテクノリサーチ(株) 星野 健二氏

・騒音について

労働衛生福祉協会 高野 広正氏

## ③デザインの精度管理について

日本作業環境測定協会 米山 玲児氏

## 理事・技術専門委員名簿

|       | 理 事   | 技術専門委員          |
|-------|-------|-----------------|
| 支 部 長 | 井澤 方宏 | 芦田 敏文(予防医学協会)   |
| 副支部長  | 吉留 浩二 | 佐藤 研二(住友重機械)    |
| 〃     | 梅田 忠明 | 竹平 知義(労働衛生福祉協会) |
| 理 事   | 仙石 久司 | 竹内猪佐夫(菱重エステート)  |
| 〃     | 佐藤 明  | 灰塚 正隆(オオスミ)     |
| 〃     |       | 岸 康博(元日産自動車)    |
| 監 事   | 望月 明彦 | 望月 速人(山梨労働センター) |
| 〃     | 三井 浩史 | 星野 健二(JFEスチール)  |
| 行 政   | 中村 宏彰 | 金子 正雄(神奈川労働局)   |
|       |       | (事務局 芦田 敏文)     |

## 神奈川県学校・腎疾患管理研究会

昭和50年に発足し38年目。各地区医師会・自治体・大学医学部・病院・学校・検診機関が相互に連携し地道な腎疾患対策を行い児童・生徒の健康に寄与すべく事業を展開している。

### I 調査研究事業

#### 1. 調査研究

- ①学校現場と腎疾患医療分野の連携を図るため、鎌倉市腎臓疾患判定委員会にて講演と質疑を実施。

責任者 生駒 雅昭

(本会幹事・川崎市立多摩病院小児科部長)

日 程 平成25年2月7日(木)

会 場 鎌倉市中央図書館3階会議室

講 演 腎疾患児の学校管理、指導について

参 加 教育委員会、学校医、養護教諭等  
35名

- ②各地区の判定委員会の現状と問題点の把握。

責任者 高橋 英彦

(本会幹事・こども医療センター 腎臓内科)

日 程 平成25年2月23日(土)

会 場 万国橋会議センター

協議事項 ・各地区現状報告と検討

参 加 9地区担当 6名

### II 運営委員会

責任者 新村 文男

(本会会長・東海大学病院医学部小児科准教授)

日 程 平成24年5月25日(金)

会 場 神奈川県予防医学協会7階役員室

参 加 9名

### III 総会および研究会他

日 程 平成24年9月29日(土)

会 場 ワークピア横浜

・役 員 会 14:00-

・総 会 15:00-

・定例研究会 15:30-

テーマ 「小児慢性腎臓病(CKD)の管理と腎移植」

講 師 東邦大学医療センター大森病院

小児腎臓学講座 濱崎 祐子 先生

参加人数 27名

### IV 医師部会研究会

日 程 平成25年2月23日(土) 15:00-

会 場 万国橋会議センター

- ①テーマ 「小児の高血圧に関する薬物療法ガイドライン」

講 師 聖隷浜松病院小児科 藤田 直也 先生

- ②テーマ 「小児腎疾患と運動制限について  
ー学校検尿のすべての改訂をふまえてー」

講 師 東京医療センター小児科 後藤 美和 先生

参加人数 29名

### V 知識普及活動

1. 研究会機関誌「腎」33・34合併号の発刊(1,900部)
2. ホームページ活用し、県下各地域の学校保健関係者に普及活動を行なう。

(URL <http://www.shouni-jin.jp/>)

- ◎24年度研究会のお知らせならびに参加申込コンテンツ機能を追加

(事務局・業務1課 佐藤 光宣)

## 禁煙、分煙活動を推進する神奈川会議

平成11年11月5日設立発足した本会は着実な活動を展開し、県内における禁煙・分煙に関する活動の指導的役割を果たしてきている。

協会は設立時より本会の事務局を担当している。

平成15年「健康増進法」において受動喫煙防止が謳われ、神奈川県では「かながわ健康プラン21」、「がんへの挑戦・10ヵ年戦略」によるタバコ対策につづき、「神奈川県公共的施設における受動喫煙防止条例」が平成22年4月から施行された。本会も条例の効果的な運用に協力し積極的に活動を展開している。

### 24年度活動内容

#### I. 会議

- (1) 総会 6月2日

- (2) 理事会 6回

#### II. 事業

1. 講演 6月2日

2. 禁煙・防煙講演会、禁煙セミナー

委託事業として随時開催

地域、学校・職域、医療関係への講師派遣 110回

3. かながわ卒煙塾 講師・相談員協力

4. 喫煙生徒に対する神奈川県教育委員会との連携・協力

5. かながわ卒煙サポートセミナーへの協力

6. リレー・フォー・ライフ2012への協力

7. 全国禁煙アドバイザー育成講習会への協力

8. 国会議事堂見学と禁煙グルメの会

9. イベントへの参加

上永谷駅前「禁煙キャンペーン」等4回

10. 関連会議への協力・参加 12回

11. マスメディアへの協力

茅ヶ崎ネットテレビ等7回

12. メーリングリスト(NL)の運営

13. ホームページの運営

### 役員(理事会)の構成(25年7月25日現在)

会 長 中山脩郎(神奈川県内科医学会名誉会長)

副会長 廣瀬好文(神奈川県立循環器呼吸器病センター所長)

〃 杉本達也(神奈川県歯科医師会常務理事)

〃 高橋洋一(神奈川県薬剤師会副会長)

会計、監事、理事 38名(医師、歯科医師、薬剤師、看護師、マスコミ、産業、教育等)

(事務局 栗原 博)

## スモークフリー推進かながわ基金

受動喫煙による健康への悪影響から県民の健康を守るための公共的空間における新たなルールとして、「神奈川県公共施設における受動喫煙防止条例」が平成22年4月1日より施行された。

受動喫煙防止を広く浸透させ、自らの意思で受動喫煙を避けることができる環境の整備を促進するためには、民間と行政が、相互に、理解と協力のもとに対策を推進することが重要であり、これを継続的、安定的に実施するため、県民、法人、全国の賛同者からの寄付金を原資とした「スモークフリー推進かながわ基金」が設立された。

これは、民間と行政の協働による受動喫煙防止対策の一層の推進と、「スモークフリー」を神奈川県から広く発信し、社会全体のルールとして定着するための各種事業を実施することを目的としている。

その呼びかけ人の総意により、当協会がその事務局を引き受けている。

（スモークフリーとは“煙から開放されて自由になる”という意味です）

### 設立呼びかけ人

公益社団法人神奈川県医師会  
一般社団法人神奈川県歯科医師会  
公益社団法人神奈川県薬剤師会  
公益社団法人神奈川県病院協会  
公益社団法人神奈川県看護協会  
神奈川県

### 24年度活動内容

#### 事業協力

1. 受動喫煙防止県民フォーラムへの協力  
11月17日
2. 受動喫煙防止キャンペーンへの協力  
「クリアファイル及び県作成啓発グッズの配布」
3. 運営委員会  
12月5日

### 役員（運営委員）の構成（平成24年11月現在）

委員長 澤井博司（神奈川県医師会副会長）  
委員 浅川章光（神奈川県歯科医師会副会長）  
〃 太田信治郎（神奈川県薬剤師会理事）  
〃 吉田勝明（神奈川県病院協会副会長）  
〃 天野三紀子（神奈川県看護協会常務理事）  
〃 中澤明紀（神奈川県保健福祉局参事監（兼）  
保健医療部長）  
（事務局 栗原 博）

## 神奈川学校保健研究会

県内の養護教諭ら、学校保健関係者が自主的に研修する場として昭和43年に発足。以来、毎月1回の月例会、夏期講習会を実施している。

### 1. 月例会

期日・テーマ・講師・参加人数  
4月21日「ゲシュタルト療法」俵里英子・医師・12人  
5月26日「学校心臓検診の実際」間島 勝徳・公益財団法人神奈川県予防医学協会臨床検査部部长・11人  
6月30日「知っておきたい初期救急」大塚剛・帝京大学医学部付属病院救命救急センター医師・27人  
7月14日「湿潤療法ー早くて安くて痛くない、キズの治し方教えますー」和田浄史・川崎協同病院外科科長・33人  
9月8日「保健室で役立つ東洋医学ー実践編ー」宇南山伸・日本工学院八王子専門学校針灸科・18人  
10月20日「学校は今…、そして明るい未来のために！」青木 弘・国立大学法人横浜国立大学教育人間科学部附属鎌倉中学校副校長・17人  
11月10日「発達障害の子どもたちへの『苦手サポート大作戦』」金子晴恵・アンダンテ西萩教育研究所代表・21人  
12月1日「学校における摂食障害の対応ーできることできないこと」鈴木（堀田）眞理・政策研究大学院大学保健管理センター教授、医師・43人

### 25年

1月19日「〈誕生学〉って知っていますか。～いのちの出前出張授業～」早川 正子・看護師、公益財団法人認定産後教室講師、誕生学アドバイザー・22人  
2月16日「性の多様性について考える」星野 慎二・特定非営利活動法人SHIP代表・18人  
3月23日施設見学会、神奈川工科大学厚木市子ども科学館・3人  
2. 夏期講習会  
日 時：平成24年8月7日～9日  
テーマ：「個性を見つめ個性を高め、個性と個性の結びを求める～知ろう、学ぼう 子どもの支援者として」参加者数（延べ）：353人  
7日「カウンセリングの基礎と教室・家族支援」村尾泰弘・立正大学社会福祉学部人間福祉学科教授  
8日「子どもの支援者としての養護教諭」江花昭一・神奈川大学特別教授（学校医・産業医）  
「学校事故の判例に見る救急措置の危機管理についてー学校スポーツ事故の法的危機管理ー」菅原哲朗・弁護士  
9日「知っておきたい初期救急」大塚剛・帝京大学医学部付属病院救命救急センター  
「タッピングタッチ 心と体に届くケア」中田康裕・タッピングタッチインストラクター

### 会員状況

小学校9人、中学校14人、高校・短大14人、特別支援学校・保育園・ボランティア1人、その他18人、計56人  
役員（順不同、敬称略、平成24年5月31日現在）

|      |                     |
|------|---------------------|
| 顧問   | 高田 和子               |
| 名誉会長 | 山口 京子               |
| 会長   | 鈴木 晴美（前・横浜市立浦島小学校）  |
| 副会長  | 藤沢 恵子（横浜市立新鶴見小学校）   |
| 幹事   | 佐藤 まゆみ（神奈川県立川崎高等学校） |
|      | 木村 千恵子（川崎市立千代ヶ丘小学校） |
|      | 平山 京子（北鎌倉女子学園）      |
|      | 菊池 幸江（川崎市立南河原中学校）   |
|      | 後藤 和泉（秦野市立本町中学校）    |
|      | 坂井 悦子（横浜市立藤の木小学校）   |
| 監事   | 中川 優子（藤沢市立藤ヶ丘中学校）   |
|      | 工平 きん（横浜市立勝田小学校）    |
|      | （事務局 船崎 隆文）         |